

まちかどトピックス

MA / CHI / KA / DO / TOPICS

■お問い合わせ

企画財政課企画推進担当

☎22-1111 (内線356)

✉koho@city.nirasaki.lg.jp

山梨英和中学校の生徒が企画しました



12月8日、山梨英和中学校の職場体験の一環として、カラー紙粘土を使用してアクセサリーなどを制作する「縄文★デコ」教室が行われました。参加者は参考作品を見ながら、親子で思い思いのアクセサリーを楽しみながら制作しました。

参加した安部真央ちゃんは、「ねんどがだいすきです。たのしかった。またやってみたい。」と、うれしそうに話してくれました。

イベント企画者の清水日南子さんは、「参加した誰もが楽しんでいただけるように、企画から試



作品の準備まで大変でした。でも今日は、参加者に楽しんでいただけてよかったです。資料館は思ったよりもたくさんの資料が展示しており、びっくりしました。」

森沢あい里さんは「みんなが楽しんでくれたので、イベントは成功したと思います。資料館の場所が少しわかりにくかったので、もったいないなあ、と感じます。」と感想を述べてくれました。

メガソーラー発電所発電開始



三井物産(株)、(株)明電舎等の企業グループが、大草町の御勅使工業団地南側県有地(約11ヘクタール)に建設を進めていました約1,000世帯に相当する、年間約6メガワットを発電する民間メガソーラー発電所が、1月より運転を開始しました。工事期間中、付近の住民・企業の皆さまには、ご理解、ご協力いただきありがとうございました。

雲岸寺の豆まき





地震への備えの大切さを学びました

1月19日、東京エレクトロン荏崎文化ホール・小ホールにおいて、「男女協働で減災力のあるまちづくり」と題した、男女共同参画・減災合同フォーラムが開催されました。

男女共同参画推進委員による、新プランの概要説明や活動報告の後、大地震での発生時の行動、緊急時のトイレの使い方などを演じた、寸劇が披露されました。

また、みなみらんぼう氏による基調講演では、「2011年の東日本大震災のときには、2008年の岩手・宮城内陸地震を教訓として、着実に防災意識や住宅の耐震化が進んでいることを実感した。」との話に、参加した森田さんは「日ごろから、ひとりひとりが防災の意識を持つことの大切さを改めて感じました。らんぼうさんの口調が優しく、人間味にあふれていて良かったです。」と感想を語ってくれました。

正月から熱戦が繰り広げられました

1月18日、19日の2日間、グリーンフィールド穂坂において、青少年の健全な育成につなげようと、市サッカー協会と荏崎警察署による、恒例のU-12サッカー正月大会が行われました。大会には荏崎、北杜、甲斐市の3市から21チームが参加、それぞれの試合で熱戦を繰り広げました。



篠原靖くんは「シュートが決まり、今後にいい意味につながりそうです。」丸山晃汰くんは「点が取れて、とても嬉しい。次の試合も点を入れたい。」大柴秀太くんは「久しぶりに点が決められてうれしかった。」と、それぞれに喜びを語ってくれました。

